

## ロベコSAM 評価手法の変更に関する オンラインセミナー

チューリヒ、2016年3月22日  
(日本語版公表 2016年4月)

※本プレゼンテーションとその関連資料は英語版を基本とし、  
英語版と日本語版の間に矛盾が生じた場合は英語版を優先しま  
す。



## 式次第

- はじめに
- **2016年**における評価手法の見直しと変更点
- その他の変更点と、**2016年**の**DJSI**日程表
- 質疑応答

# 2016年における評価手法の 変更点

## 2016年における評価手法見直し

### 2016年の評価手法策定における主な注力分野

- 基準項目の重要性の見直し
  - 各業種における基準項目の総数削減
  - 質問項目や基準項目が財務に関連する内容となっているかを重視
- 参加企業からのフィードバックに基づき、現行の基準項目を拡充
- サステナビリティの新たなトレンドに対応

### 2016年の主な評価手法の変更点

- マテリアリティ（重要性）（全業種）
- 労働慣行指標および人権（全業種）
- インパクト（効果）測定と評価（一部業種）
- ブランドマネジメント（一部業種）
- 情報セキュリティとサイバーセキュリティ（一部業種）

# マテリアリティ（重要性）

## マテリアリティ ( 重要性 )

**2016年**は、「環境・社会報告」セクション内の「マテリアリティ ( 重要性 )」関連の質問を見直し、

経済的側面の中の「マテリアリティ ( 重要性 )」という**1つ**の基準へと統合、独立。

- 全業種に追加
- この基準における新規質問項目：
  - 重要課題
  - マテリアリティ ( 重要性 ) の情報開示
- 変更の目的：
  - 環境、社会、経済面のいずれに該当するかに関わらず、**最も重要性が高い課題3件に注目**
  - **重要課題**と、事業推進の原動力、インパクト ( 影響 )、経営者報酬との**関連性を明確化**
  - 重要課題と**長期的目標**との関連性を明確化

### 環境・社会報告基準

環境・社会報告基準における他の質問項目は変更なし。

## マテリアリティ - 重要課題

各企業は、最も重要性が高い課題**3**件を、マテリアリティ分析のプロセスを通じて見極め、報告することが求められる。

各重要課題について求められる情報：

- **課題に関する記述説明、課題の分類**
  - ビジネスケースとの関連性が最も高い（ビジネス上の根拠が最も明確な）課題に注目
- **ビジネスケース / 論理的根拠**
  - 各課題の事業上の重要性に関する説明
- **各課題が事業に及ぼす影響（コスト / 収益 / リスク）**
- **各課題に対応するための戦略（戦略 / 商品 / 取り組み）**
  - 課題に対応するための主要施策や商品に関する説明
- **長期的目標 / 課題対応の進捗を測る尺度**
  - 3年以上で、具体的かつ測定可能なものとすべき
- **目標や尺度は経営者報酬の判断材料として活用されているか？**

## マテリアリティ - 重要課題

### 当質問への回答例:

#### 重要課題 1

重要課題	企業倫理  汚職や贈収賄、行動規範への違反、コンプライアンス違反による訴訟や課徴金のリスク軽減
ビジネスケース / 論理的根拠	コンプライアンス違反による訴訟や課徴金、企業イメージの毀損、事業免許取り消し
当課題が事業に及ぼす影響 (コスト / 収益 / リスク)	リスク
当課題に対応するための主要施策や商品	社内コンプライアンス態勢改善に向けた投資、第三者によるコンプライアンス態勢の検証、従業員への追加研修
当課題について、長期的目標や、対応の進捗を測る尺度を設けているか? 設定されている場合、その目標や尺度の具体的な説明:	1年間に報告されたコンプライアンス問題の件数。 2020年までに年間のコンプライアンス問題の件数を75%削減。
長期的目標の具体的な目標年	2020年
重要課題やその尺度、目標は、経営者報酬の判断に活用されているか?	活用している。チーフ・コンプライアンス・オフィサーを含む経営陣には、当目標に連動した変動報酬を適用。



## マテリアリティ - マテリアリティ ( 重要性 ) の情報開示

当質問では、マテリアリティの枠組みや分析に関する開示状況を評価

### マテリアリティ分析:

- プロセスが詳細に説明されていること
- 課題が明確に定義されていること
- 課題に優先順位が付けられていること
- ステークホルダーの記述が含まれていること

### 目標と尺度、その進捗:

- 最重要課題に関する目標について公に報告、開示

### 期待される内容

- 年次報告書 ( アニュアルレポート )、サステナビリティ報告やウェブサイトでの報告を想定。評価は、どこで報告されるかではなく、どのような情報開示かという開示の性質を基に行われる。

# 労働慣行指標および人権

## 労働慣行指標および人権

国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に従った人権への取り組み姿勢を評価できるよう、「労働慣行指標および人権」における質問を新規質問に差し替え

- 全業種に適用

### 新規の質問項目:

- 人権へのコミットメント
- 人権のデューデリジェンス
- 人権の評価
- 人権の情報開示

### 利点:

- これまでの質問項目は、「ラギー・フレームワーク」に関するものや、業務における潜在的な人権問題への認識に関するものとなっていた
- これを置き換える4つの質問では、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」との整合性を重視
- これらの質問は、報告の枠組みに関連した最新動向も考慮、反映

## 労働慣行指標および人権

### 質問: 人権へのコミットメント

- 国連の指導原則 ( UNGP ) に沿った形で、人権問題への取り組みに関する方針が策定されているか
- 当該方針の対象となる事業活動の範囲

### 期待される内容

- *方針は明確に定義され、企業独自の状況に対応した、全社規模のものであること  
また、企業の事業活動、取引関係を網羅するものであること*

### 質問: 人権のデューデリジェンス

- 人権への潜在的影響を評価するため、どのようなデューデリジェンスのプロセスが整備されているか、そのプロセスにおいてどのような側面がカバーされているか
- 現時点でデューデリジェンス・プロセスを未実施だが策定中である、という回答も選択可能

### 期待される内容

- *プロセスの概要を説明する補足資料の提供。これは、プロセス策定中の場合は特に重要となる。  
策定中のプロセスについては、現在の進捗状況と完成予定日等から評価を行う*

## 労働慣行指標および人権

### 質問: 人権の評価

- 人権リスクが発生し得る分野をどの程度特定できているか、また、そうしたリスクを軽減する対応策を整備しているか。また、これらの人権リスクについて特定された弱者グループについて

### 期待される内容

- 実施された評価の範囲、特定されたリスク、対応策を通じて管理されているリスク等について、裏づけ、実証する情報の提供

### 質問: 人権の情報開示

- 人権へのコミットメントに関してどの程度報告が行われているか

### 期待される内容

- 人権に関する方針の公表、およびデューデリジェンス・プロセス、人権上の課題、特定された弱者グループ、対応策が整備されている場所の数、改善のための行動についての記述

# インパクト（効果）測定と評価

## インパクト（効果）測定と評価

企業の社会的責任は進化を遂げており、企業がその効果を測定する動きが拡大

2016年においては、以下の一部業種に適用：

- 一般消費財
- 素材・エネルギー
- 食品・飲料

対象となる**2つ**のトピック：

- 社会的ニーズに対応した事業プログラム
- インパクトの評価

利点：

- 当分野の主導的企業における、社会的プログラムの管理や、より広範なインパクトを測定する動きを反映

## インパクト（効果）測定と評価

社会的ニーズへの対応を通じて事業価値を生み出すプログラムを構築しているか、また、その測定基準や報告状況についての質問

**質問：社会的ニーズに対応した事業プログラム**

- 社会的ニーズに対応した事業プログラムに取り組むための体系的なアプローチが整備されているか

**期待される内容**

- ビジネス上の利点があり、かつ社会的ニーズに応えるプログラムについて説明
- 

**質問：社会的利益の測定**

- 社会的ニーズに応えるプログラムについて、社会的な利益を測定するため、どのような尺度が開発されているか

**期待される内容**

- 社会的ニーズへの対応の進捗を測るために使用する基準や計測単位について説明し、裏づけとなる情報を提供
- 

**質問：社会的ニーズに対応したプログラムに関する情報開示**

- 上記についてどの程度情報開示しているか

**期待される内容**

- 最新の公開情報への言及・紹介、またはリンクの提供



## インパクト（効果）測定と評価

現時点では財務報告に反映されていないが、事業推進の原動力として影響を与え得る外部要素が特定されているか、またその価値の評価についての質問

### 質問：インパクトの評価

- 評価の手法が使用されているか、または開発中か

### 期待される内容

- インパクトの測定や価値評価を裏付ける補足資料。プログラム開発中の場合は、進捗状況とスケジュールに関する

---

明確な説明

### 質問：評価の種類

- 使用されている評価プログラムの種類・性質に関する質問

### 期待される内容

- 評価においてどのようなアプローチを取っているか、貨幣換算評価、定量的（貨幣評価以外）、または定性的な測定基準が含まれるかどうかを明確化

### 質問：評価の情報開示

- 測定と価値評価の手法についてどの程度公表しているか

### 期待される内容

- 最新の公開情報への言及・紹介、またはリンクの提供

# ブランドマネジメント

## ブランドマネジメント

ブランドマネジメント**基準**は、グローバルなブランド・コンサルティング会社である  
**Interbrand**との協働で見直しを実施

- ブランドに関する新たな質問項目は、航空、自動車、家庭用品、小売等、消費関連の業種に適用
- 変更による利点：
  - これまでの評価手法では、ブランド関連支出、特定のパフォーマンス尺度の使用、  
ステークホルダーによる認知の動向に注目
  - 新しい手法は、企業がどのようにブランドを位置づけ、サステナビリティを差別化要因として用いているかに注目

## ブランドマネジメント

### 質問：ブランド価値

ターゲット顧客層にブランド価値が適合しているか、および企業のサステナビリティの取り組みに反映されているブランド価値に、全体として一貫性があるかに注目

---

### 質問：ブランド戦略とサステナビリティ戦略

当質問では、ブランドが何を表しているのかを社内外で明確化するための取り組み姿勢や、ブランド戦略とサステナビリティ戦略の社内調整、整合性が図られているかを評価

---

### 質問：ブランドマネジメントの尺度

当質問では、インセンティブやパフォーマンスに連動した尺度を通してブランド力の維持・強化を図ることへの社内的なコミットメントを評価（ただし、使用すべき尺度を特定せず）

# 情報セキュリティと サイバーセキュリティ

## 情報セキュリティとサイバーセキュリティ

進展著しい当ビジネス課題に対応するため、情報セキュリティとサイバーセキュリティに関する新基準を開発

- 新たな質問項目は一部の業種に適用：
  - 銀行、多角的金融サービスおよび資本市場
  - 電力、ガス、総合公益事業および水道
  - メディア、各種消費者サービス、食品・生活必需品小売

### 利点:

- 大きな情報セキュリティ事故防止への備えは十分か、事故発生時の適切な対応が可能かに注目
- 顧客関係管理の経験を教訓として活かす
- 事故の財務的影響に注目

## 情報セキュリティとサイバーセキュリティ

### 質問: 情報セキュリティ/サイバーセキュリティ戦略とガバナンス

当質問では、経営の最高レベルにおいて情報セキュリティ/サイバーセキュリティ上のリスクが認識されているか、また戦略的な対応が講じられているかに注目

---

### 質問: 責任と従業員

当質問では、戦略を実施するための経営資源に注目

---

### 質問: プロセスとインフラ

当質問では、実施のためのプロセスと方策に注目

---

### 質問: 情報セキュリティ/サイバーセキュリティ侵害

当質問では、過去に発生したセキュリティ侵害の件数や、それらの財務的影響に注目

# 2016年における その他の評価手法の変更点



## 2016年におけるその他の評価手法の変更点

### 2016年におけるその他の主な評価手法の変更点:

- **石油・ガス:質問票を2つに分割:**
  - OGX – 石油・ガス総合および上流
  - OGR – 石油・ガス精製・販売
  - 質問票の分割により、異なるサステナビリティ課題が反映され、同業他社とのより直接的な比較が可能に
- **医薬品: 医薬品へのアクセスの質問票との整合**
- **公益事業: 市場機会に関する基準を変更**
- **イノベーション管理: 質問数を削減し複雑さを軽減**

# スコアリング手法 業務上の環境効率性

## 業務上の環境効率性およびトレンドに関する質問

### 目的: 時間経過に伴う相対的なパフォーマンス / 進捗の評価

- 3~4年にわたるデータの一貫性が不可欠
- 一定期間の傾向を正規化したデータを基に評価
- 企業には、比較可能なデータを提供すること、何らかの変更があった場合はコメント欄で説明することが求められる

### カバレッジ:

- 最新データがより全体像をカバーする場合、過去の数字を調整するために利用
- データの範囲が拡大された場合、過去のカバレッジ率はより低水準となる
- 企業の全体像が反映されているとみなすためには、**80%以上の範囲をカバーしていることが必要**
- 分母には当該業種に適したものを使用し、カバレッジはその分母に対応した値とする

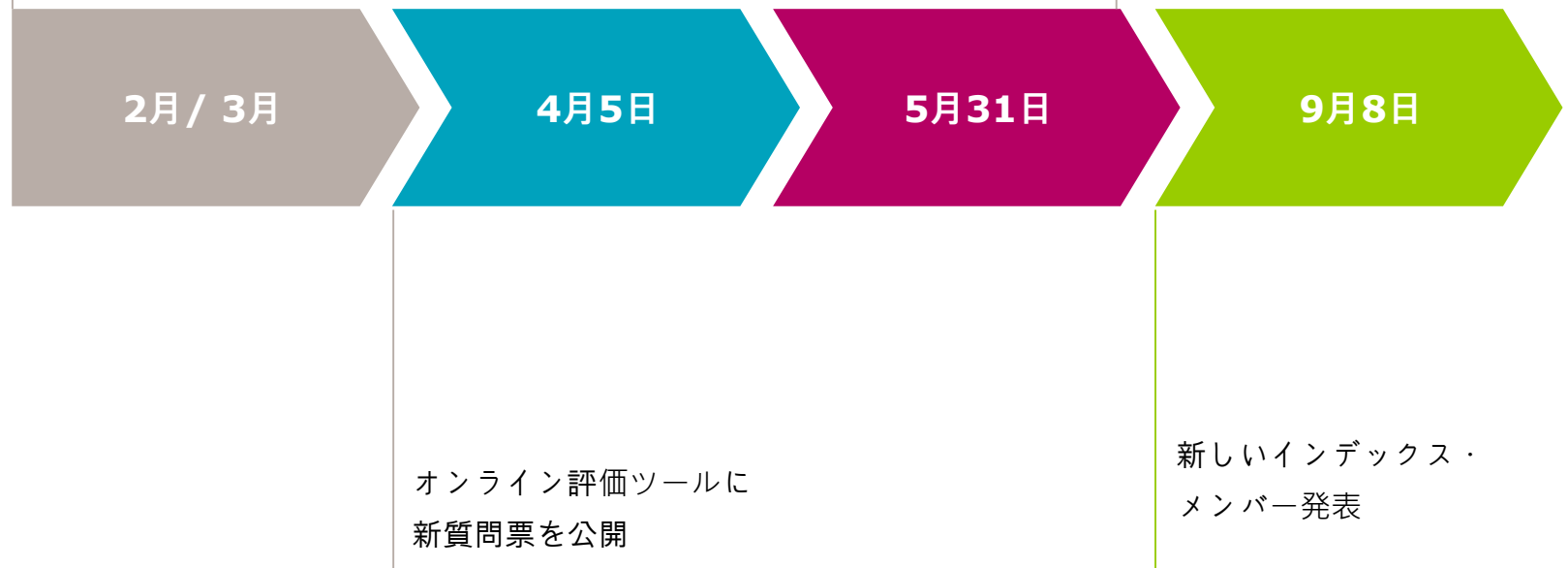
### 目標:

- 目標は年単位とすべき (長期目標に対する年間の進捗を測定)
- 目標は、組織改変を受けて再設定可能
- 目標を設定すること、また時間を掛けて進展していくべき現実的な目標に対し、進捗状況を管理していくことが好評価の対象となる

## 2016年の主要日程

## 2016年の主要日程

- 評価手法の主な変更案に関する情報アップデート
- 全対象企業に正式に案内状を送付
- 主要な評価手法の更新に関するオンラインセミナー
- 質問票回答の正式な提出期限



## お問い合わせ

詳しくは**DJSI**ヘルプラインにお問い合わせいただくか、「コーポレート・サステナビリティ評価の手引き」をご覧ください:

[https://assessments.robecosam.com/documents/RobecoSAM\\_CSA\\_Companion.pdf](https://assessments.robecosam.com/documents/RobecoSAM_CSA_Companion.pdf)

ロベコ**SAM DJSI**ヘルプライン  
[index@robecosam.com](mailto:index@robecosam.com)  
**+41 44 653 10 30**  
<https://assessments.robecosam.com>

## 免責事項

**No warranty** This publication is derived from sources believed to be accurate and reliable, but neither its accuracy nor completeness is guaranteed. The material and information in this publication are provided "as is" and without warranties of any kind, either expressed or implied. RobecoSAM AG and its related, affiliated and subsidiary companies disclaim all warranties, expressed or implied, including, but not limited to, implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. Any opinions and views in this publication reflect the current judgment of the authors and may change without notice. It is each reader's responsibility to evaluate the accuracy, completeness and usefulness of any opinions, advice, services or other information provided in this publication.

**Limitation of liability** All information contained in this publication is distributed with the understanding that the authors, publishers and distributors are not rendering legal, accounting or other professional advice or opinions on specific facts or matters and accordingly assume no liability whatsoever in connection with its use. In no event shall RobecoSAM AG and its related, affiliated and subsidiary companies be liable for any direct, indirect, special, incidental or consequential damages arising out of the use of any opinion or information expressly or implicitly contained in this publication.

**Copyright** Unless otherwise noted, text, images and layout of this publication are the exclusive property of RobecoSAM AG and/or its related, affiliated and subsidiary companies and may not be copied or distributed, in whole or in part, without the express written consent of RobecoSAM AG or its related, affiliated and subsidiary companies.

**No Offer** The information and opinions contained in this publication constitutes neither a solicitation, nor a recommendation, nor an offer to buy or sell investment instruments or other services, or to engage in any other kind of transaction. The information described in this publication is not directed to persons in any jurisdiction where the provision of such information would run counter to local laws and regulation.

© 2016 RobecoSAM AG